

かながわの交通

2018
9

交通安全年間スローガン受賞作品(警察庁長官賞)
～一般部門(A)～ 運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの

ハイビーム 上手に使って 事故防止



第53回 交通安全子供自転車全国大会 県代表チーム



道路横断には気をつけて!

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵!

運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう!

**歩行者
事故
多発!**

◎県内の交通事故発生概況(平成30年8月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
平成30年		17,269	99	20,569
平成29年		18,438	86	21,928
増減数		-1,169	+13	-1,359
増減率		-6.3	+15.1	-6.2

	総数	男	女
県人口	9,180,457	4,578,046	4,602,411
免許人口	5,633,836	3,224,227	2,409,609
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は平成30年8月1日、免許人口は平成30年7月末現在)

平成30年度秋の全国交通安全運動

～ 9月21日(金)から9月30日(日)の10日間 ～

目 的

すべての県民を交通事故から守るために、県民一人一人が交通安全について考え、交通ルールへの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故防止の徹底を図ります。

スローガン

- ・安全は 心と時間の ゆとりから
- ・高齢者 模範を示そう 交通マナー

重 点

- 1 子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- 2 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- 3 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 4 飲酒運転の根絶
- 5 二輪車の交通事故防止

9月30日は「交通事故死ゼロを目指す日」



ゼロティッシュ

交通安全
蛍光バッグ



～「平成30年度秋の全国交通安全運動」主な予定～

《 出 発 式 》

- 日 時：9月18日(火) 午後1時30分から午後2時まで
- 場 所：横浜市中区新港1-1 横浜赤レンガパーク
- 内 容：秋の全国交通安全運動に併せて、交通街頭活動に従事する警察職員の士気と県民の皆様の交通安全意識の高揚を図るため、交通部長以下交通部各所属長、横浜水上警察署長と白バイ34台、パトカー8台、警察船舶2隻、航空隊ヘリ2機を集結させ、警察本部長を点検官とした服装点検・車両点検を行い、来賓として県知事や県公安委員会委員長の挨拶をいただいた後、街頭活動に出発することとしています。

(雨天中止)

《交通安全キャンペーン》

- 日 時：9月18日(火) 午後2時15分から午後3時30分まで
- 場 所：横浜市中区新港1-1 横浜赤レンガパーク
- 内 容：秋の全国交通安全運動出発式後に、同所において交通安全キャンペーンを実施します。
同キャンペーンでは、関東学院大学吹奏部による演奏、県警察音楽隊の演奏とカラーガードによる演技、大山愛未さんとカラーガードによる「みんなで仲良くパトロール」の歌の披露、白バイ(ホワイトエンジェルス)による模範走行、交通安全教育車ゆとり号による交通安全教室等を行います。



(ピーガルくん)

(雨天中止)



第53回交通安全子供自転車全国大会

8月8日(水)、全国47都道府県の代表選手が東京ビッグサイトに集合して「第53回交通安全子供自転車全国大会」が開催されました。

神奈川県からは、7月7日の「第49回交通安全こども自転車神奈川県大会」で悲願の初優勝を飾った三浦市立名向小学校チームの橋本 善(6年)さん、青木あすか(6年)さん、関本絢乃(6年)さん、近藤勇樹(6年)さんの4選手が出場しました。当日は、交通安全協会、県警察、家族や学校関係者など大勢が駆けつけ、選手を激励しました。



大会は各種目減点方式で、午前9時から「交通ルールなど」の学科テストを行い、場所を移動して開会式を行った後、午前11時から昨年優勝の広島県チームから実技テストを開始し、本県チームは28番目に一番員の橋本選手がスタートしました。

各選手からは、学科テストで文章の微妙な違いを読み取るのに戸惑ってしまったとの感想があり、実技テス



トでは、全国大会独特の雰囲気の中、とどころでミスを出してしまい実力を十分発揮できませんでした。

結果としては、全国大会のレベルの高さの前に、団体、個人とも入賞を果たすことはできませんでした。来年に向けて健闘を誓いました。

選手、関係者の皆様お疲れ様でした。



第53回交通安全子供自転車全国大会観戦記

神奈川県警察本部交通総務課交通安全教育隊 巡査長 堀切 紀代乃

私は第53回交通安全子供自転車全国大会に行き、神奈川県代表である三浦市立名向小学校の応援をしてきました。

全国大会当日、学科テストを終えた選手たちは「すごく難しかった!実技はもっと頑張る!」と、頼もしい笑顔をこちらに向け、きっと実技テストでは実力を出し切ることができるだろうと応援団一同心強い思いでいました。

実技テストの出番を待っている選手は、どの県にも負けないエールを仲間を送り、出番の選手はそれに応えるかのように、会場の端まで届く大きな声で安全確認の呼称をして力強くペダルをこいでいました。

県大会の実技テストで個人賞の入賞を逃した関本綾乃さんは、全国大会の実技テストでは、特に難しいジグザグ走行と2枚の板のり走行をミスなく完走し、観客席に戻るなり、やり遂げた安堵感からか大粒の涙を流していました。

他にも、思うようにいかなかった悔しさをぐっとこらえる選手や、出番直前に静かに心を整える選手、明るい声で仲間を元気付けていた選手など、大会の間中たくさんの表情を見ることができました。

全国大会が終了し、応援に駆けつけた指導員、学校の先生、家族や三崎警察署員らに「応援してくれてありがとうございました!」と力いっぱい一礼した選手たちの姿に、目頭が熱くなりました。

惜しくも入賞を逃してしまいましたが、県の代表として、また三浦市初の全国大会出場者として、彼らだけでなく周囲の大人たちや同級生などたくさんの人にとって、とても良い経験になったのではないかと思います。

交通安全こども自転車神奈川県大会は、来年は記念すべき50回目を迎えます。

各地区安全協会の皆様には、奮って参加していただきたいと思います。

記念すべき第50回大会に、一人でも多くの輝く子供たちが出場することを願っています。



第40回 自転車の安全な乗り方足柄上地区大会

～ 2019年交通安全こども自転車神奈川県大会の予選会を兼ねて ～

足柄交通安全協会と松田警察署の主催により、8月23日(木)南足柄市体育センターアリーナにおいて、「第40回自転車の安全な乗り方足柄上地区大会」が盛大に開催されました。

大会は1市5町(南足柄市、松田町、開成町、大井町、山北町、中井町)の小学校から、16チーム64人の児童が参加して行われました。

午前9時20分から選手入場が続いて、開会式を行い、優勝トロフィー返還、足柄交通安全協会大谷会長の挨拶、審判長による注意があり、競技が開始されました。

競技は学科テストの後、安全走行テストと技能走行テストが行われ、各実技テストの前には昨年優勝し、今年、県大会出場し準優勝したチームのメンバーによる模範演技が行われ、見事な演技に観客や選手から拍手が起きました。

選手は保護者や指導者など観客からの声援を受け、各チーム日頃の練習成果を競い合いました。大会の結果は、

● 団 体

- 優 勝** 開成 No.1 (開成町)
- 第2位** 開成南あらあらはんぱないって5の3 (開成町)
- 第3位** DAH2 (大井町)

個 人

- 優 勝** 小川琉偉選手 (山北町)
- 第2位** 井上実咲選手 (開成町)
- 第3位** 井上翔斗選手 (大井町)

でした。

優勝チームは、来年の「第50回交通安全こども自転車神奈川県大会」に出場する予定です。



「赤色TSマーク」で安全・安心

赤色TSマーク貼ってね

「TSマーク」は自転車安全整備店の自転車安全整備士が点検・整備した安全な普通自転車に貼るシールのことで、傷害保険と賠償責任保険が付帯しています。

「TSマーク付帯保険」は、自転車に付帯していますので、所有者に限らず、その自転車に乗車していた家族や借りた友人、譲り受けた人も対象となります。

赤色TSマーク付帯保険の補償内容

	傷害補償	賠償責任補償	被害者見舞金
補償内容	●死亡	●死亡	●入院加療15日以上の傷害
	●重度後遺障害(1～4級)	●重度後遺障害(1～7級)	一律10万円
	●入院治療15日以上	限度額1億円	一律10万円



交通事故の悲劇に学ぶ ⑥2

●「奪われた命」 建設業 (33歳)

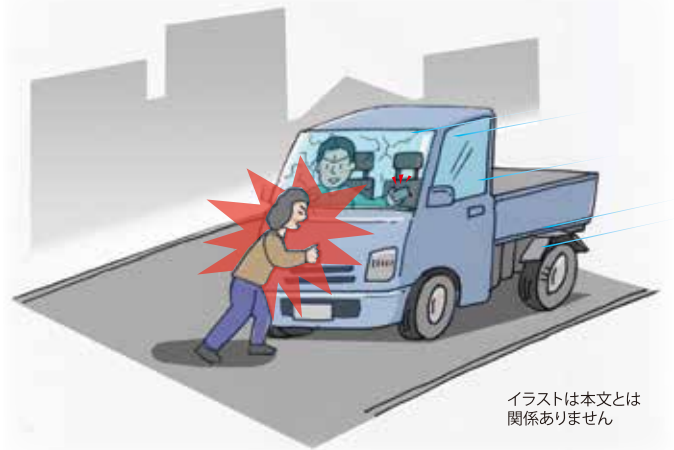
ある年の9月、その日は仕事が休みでしたが、私は朝から会社へ出勤し、事務仕事をこなしていました。午前11時頃、翌日の現場の下見に来て欲しいという電話があり、現場の下見に行くことになりました。午前11時15分頃、事務所にいた同僚に「ちょっと出掛けてくる。」と告げ、私は会社の軽トラックに乗り込み出掛けました。

いつもよく通る道を、スピードを出す訳でもなく、いつも通りの運転で車を走らせ、見通しの良い片側一車線の道路、緩い右カーブを抜けたところで助手席に置いたタブレットの着信音が鳴りました。この時、私は運転中でしたが、何か気になったため、ボタンを押し、画面を確認しようとタブレットの操作を始めました。そして、前方と助手席を交互に見つつ、運転していたところ、突然目の前に人が現れました。「ボンッ!」と鈍い音がし、次の瞬間、車のフロントガラスがクモの巣状になりました。

その場に車を止め、車から降りると、5〜6m先に被害者の女性が横たわっていました。すぐに駆け寄り、「大丈夫ですか。」と声を掛けましたが、返事はありません。出血はなく、擦り傷程度でしたが、苦しそうに呼吸をしていました。目の前に消防署があり、声を掛けると、中から消防隊員の方が来てくれました。私は救急車をお願いするとともに、被害者の救護を手伝って貰いました。また、たまたま通りかかった看護師の方が救護に加わり、救急車が来るまで被害者の方の救護を手伝って貰いました。最初は意識がありませんでしたが、救急車が到着する頃には呼び掛けに対し、声にならない声で返事をしていました。その後、警察に通報し、現場を確認して貰いました。

いったん家に帰り、すぐにタクシーで病院に向いました。被害者のご家族にも会い、すぐその場で謝罪するとともに、事件の状況を包み隠さず正直に話しました。今はまだ手術をしていてどうなるか分からないと言われたため、明日の夕方にもまた来ると伝え、その日は帰宅しました。

翌日、警察から連絡があり、被害者の方はお亡くなりになったと知り、とても怖くなりました。私は、被害者ご遺族の方に連絡を入れ、お通夜、お葬式に行かせて欲しいとお願いすると「このままじゃ気も済まないだろうから来てもらって構わない。」と言われ、一人で通夜に参列させて貰いました。そこで沢山の人の頭を下げ、謝りましたが、別れも言えず、突然亡くなってしまった被害者の方のことを思い、みんな泣いていました。その悲しむ姿を見ているのはとても辛かったです。



イラストは本文とは関係ありません

今思えば運転中に電話が鳴ると、車を走らせながらも出していたため、妻に「危ないから止めな。」と言われ、息子にも「パパ止めな。」と言われていましたが、「大丈夫だよ。」とはぐらかし、聞き流していました。今回の事件は起こるべくして起きたのです。今回のことが起きてしまう前に気付き、運転に集中していれば誰も悲しむことはなかったと思います。

その後、四十九日を過ぎてから被害者ご遺族の方に連絡を入れ、何度か家に上がらせてもらい、お線香を上げさせて貰いました。謝罪は受け入れてくださりましたが、「自分がやったことの責任は取り、刑務所に入って欲しい。」と被害者ご遺族の方に言われました。

裁判の結果、禁錮2年となり、今は市原刑務所にいます。私が奪った尊い命、一つの命を奪ってしまった事で残されたご遺族には一生苦しみ続けられ、決して癒える事のない深い傷を負わせてしまいました。私はこれから、今までの弱い自分を改め、同じ事を繰り返さないよう反省の時間を過ごしていこうと思います。そして、被害者ご遺族の方には自分を許してもらおう為に謝罪するのではなく、亡くなった方と残された方がどんな思いをしているかを考え、償っていこうと思っています。

今回のような交通事故が近年増えているのではないのでしょうか。この手記を誰かに読んでいただくことで、今後少しでも同じような悲しい事件が起きないことを心から祈っています。また、今回の事故で被害者ご遺族の方が私の謝罪を受け入れてくださったことは、本当に感謝すべきことだと刑務所に来て思いました。その私に対する対応を裏切ることのないよう受刑生活を全うしたいと思います。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行

「贖いの日々(第51集)」から～

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- 松浦企業(株) ————— 横浜市鶴見区寛政町
- 萬運輸(株) ————— 横浜市鶴見区駒岡
- 学校法人 武相学園 ————— 横浜市港北区仲手原

二輪車安全運転指導員への道

二輪車運転について知識・技能・指導力を有する指導員を養成し、二輪運転者に対する積極的かつ効果的な交通安全教育を推進するため「二輪車安全運転指導員養成講習会・資格審査」を行います。

二輪車のメーカー・販売・修理等の仕事に従事する方々をはじめ、二輪車を愛し、二輪車の快適さ、そして安全運転技能・マインドを、ライダーに伝えたい多くの皆さんのご応募をお待ちしています。

① 日 時 平成30年10月13日(土)

《 養成講習会 … 8:30～12:00 》

《 資格審査 … 13:00～16:30 》

※ 養成講習会修了者でなければ、資格審査は受けられません。

② 場 所 神奈川県警察運転免許センター

③ 応募資格基準

20歳以上で、二輪免許又は原付免許を持ち、その運転経験が3年以上あり、過去3年以内に行政処分を受けたことがなく、かつ悪質な交通違反を犯していないこと。その他、指導員としてふさわしい者であること。

※ 運転記録証明書がないと受講できませんので、必ず持参してください。

④ 内 容

○ 養成講習会 ～ 適性検査、学科講習、学科試験

○ 資格審査 ～ 面接審査、書面審査

⑤ 費 用

○ 講習会、資格審査料 ～ 3,500円

○ 合格した場合の資格認定料 ～ 3,000円

⑥ 服装等

服装は、二輪車の乗車に適したものとし、ヘルメット、プロテクターを持参してください。(プロテクター借用希望者は、申込用紙所定欄に記載する。)

※1 実技審査は、受験者の持ち込み車両で実施しますが、最終合格の場合、審査時に使用したその車両(原付・普通二輪・大型二輪)以下の二輪運転者の指導が可能となります。

2 申込用紙は二輪車販売店、県交通安全協会にあります。詳細は県交通安全協会ホームページをご覧ください。



新任事務長紹介 ～よろしくお願ひします～

足柄交通安全協会 吉田 利光 事務長

みなさま、はじめまして。平成30年3月に長年勤めた松田町役場を定年退職し、5月より足柄交通安全協会の事務長として勤務しております吉田利光と申します。まだまだ分からないことだらけですが、会長をはじめ各支部の方々、優しい職員に助けられ何とか日々の仕事をこなしているところです。

さて、私事ですが、若いころからバイクや車が大好きで、北海道や信州へのツーリングやドライブ、温泉巡りに時折出かけており、昔はサーキットを走ったこともあります。なかでもバイクを通じて得た友人は全国に広がり、今でも楽しく交友を深めているところです。

近年、バイクによる交通事故が多発し、新聞等で亡くなる方の記事を読むたびに心が痛みます。バイクは楽しい乗り物であると同時に、危険と隣り合わせであることを思い知らされます。常日頃より交通安全には気を付けて運転しているつもりではありますが、ここに勤務するようになってからは、より一層安全運転に心掛け、交通ルールを遵守して少しでも悲惨な交通事故が無くなればと願っております。

今後も各季節ごとに行われる啓蒙キャンペーン等に尽力し、交通事故防止に役立って行ければと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



この人
152



会長
秦野市交通安全協会
古谷 光一さん
ふるや こういち



秦野市交通安全協会は、昭和23年3月に発足し今年70年目を迎える協会です。

今回は、今年6月6日付けで新会長に就任しました古谷光一(70歳)さんをご紹介します。

古谷会長は、生まれも育ちも秦野です。高校を卒業後、自動車修理関係の会社に入社し、平成元年に自宅の物置で伸見自動車を開業し、その後(有)伸見自動車を立ち上げました。

平成7年に「交通安全協会の役員を頼むよ」と自治会から推薦され、秦野市交通安全協会北支部役員として活動を開始しました。当時は、交通死亡事故も多く、交通監視活動を重点に活動していましたが、交通安全協会がどんなことをしているのか、あまり理解しないまま行っていたそうです。平成13年には推進委員に推薦され、平成22年に協会理事、その後、平成26年に副会長に就任されました。

見守り活動で、子どもたちとの「おはよう」の挨拶や信号待ちの時などの会話、また近所の人達から「お疲れ様です」と声を掛けてもらったり、暑い日には、冷たい飲み物を差し入れてくれたりして、本当に嬉しかったそうです。ですから活動を始めて23年になりますが、長かったと感じたことはないと話しております。

交通安全協会は、免許更新の手伝い、街頭での交通監視や見守り活動、標語のコン

クール、各季の交通安全運動でのキャンペーンなど様々な活動をしています、近年会員の減少が顕著で協会の運営も厳しいものがあります。

一般の市民は、交通安全協会は「何しているのか知らない人も多い」ので、協会の活動を市民にアピールするのが、私の役目だと語っております。

私生活では、秦野も好きだが、「心のふるさと」と思えるのは沖縄とのことで、沖縄出身の友達に案内され旅行した際に「これが日本か」と感動したそうです。沖縄好きが高じて、時々沖縄弁で話をするので、沖縄出身者と間違われることもあり、好きな酒は、もちろん泡盛、倉庫にはいつもケースで入っています。周りからは、「いろんな人と出会って恵まれていいね」と言われております。

4年間、副会長を務め、前会長からタスキを渡され重圧で押しつぶされそうな毎日ですが、前会長から「役は人を育てる」という言葉を信じて、やるしかない決意を固めておられます。

これからも会長を陰で支えておられる奥様の協力に感謝しながら、より一層活躍されることを願っています。

取材協力：秦野市交通安全協会

こんにちは
「栄交通安全協会」です

当協会は昭和54年5月1日、戸塚警察署から管轄区域が分割され戸塚南警察署が新設されたことにより「戸塚南交通安全協会」が発足いたしました。

さらに、昭和61年11月3日戸塚区内の分区で栄区が誕生したことにより、「栄交通安全協会」と改称して現在に至っております。

栄区は平成22年4月にWHO「セーフコミュニティ」の認証取得に向けての検討が開始され、当協会も交通安全対策分科会の一員として参画し認証取得の実現に協力して参りました。

今回は当協会が取り組んでいる「交

通安全ミニ風」についてご紹介いたします。

昭和60年、「地域の方々の交通安全を願い、安全運転への啓蒙を図る」ことを目指し、警察署前の道路においてドライバーの皆さんに差し上げてきました。

交通指導員を中心に協会役員や時には署の方々にも協力をいただきながら、竹ひご作り、色塗り、糸付けから包装と全て手作りで、毎年1500枚ほど作り会員の方・運転者・歩行者に配布しております。

一般的なチラシなどの配布と違い、車に載せたり、家に持ち帰ったりして長く保存していただくため、より交通安全に対する啓発に繋がるものと期待しております。



栄区内の交通事故ゼロを目指し、区内を走る「神奈川中央交通」「江ノ電バス」両社にもご協力を願い、バス車内に掲示し、バスを利用されるお客様にも大変関心を持っていただいております。

今後も警察署・区役所・関係機関団体と連携し交通事故防止に効果的なキャンペーンを展開していきたいと考えております。

(関 記)

地区交通安全協会の活動紹介



横須賀 衣笠地区での二輪車事故防止キャンペーン



海老名 海老名運動公園での交通安全キャンペーン



三浦市 三浦海岸駅周辺でのハンドルキーパー運動



相模原南 大野台地区での交通安全キャンペーン



大 船 北鎌倉駅前での交通安全キャンペーン



泉 区役所での交通安全キャンペーン



厚 木 あつぎ鮎まつりでの交通安全パレード



宮 前 平小学校での交通安全サマースクール



相模原北 橋本七夕まつりでの交通誘導活動



津久井 鳥屋地区での二輪車事故防止キャンペーン

交通安全活動

インフォメーション

- | | |
|------------------------|---------------------|
| ● 自転車安全整備制度ブロック会議 | 10月 4日(木) 新潟県 |
| ● グッドライダーミーティング | 10月 8日(月) 厚木中央自動車学校 |
| ● 二輪車安全運転指導員養成講習会・資格審査 | 10月13日(土) 運転免許センター |
| ● 二輪車安全運転講習会 | 10月20日(土) 運転免許センター |